



小竹地区の棚田



防護柵の補修

私たちの農地を守る ～高齢化と担い手を考える～

上津江振興局
だより

No.82

令和3年8月15日発行
上津江町の人口と世帯(8/1)
[人 口] 703人
[世 帯 数] 352世帯
[高齢化率] 52.9%
[文 責] 上津江振興局長

年々減少する米作り ～10年前の約3分の2に～

上津江町の農家は、米を作りながら野菜生産や畜産を組み合わせた複合経営を行ってきました。

年々、兼業化が進む中、多くの農家で米作りだけは続けられてきましたが、近年では、高齢化が進み、米の作付も減少しています。10年前の平成23年度と比べると田を所有する農家戸数と田の面積は約1割程度減少しています（表1）。

米の作付面積は10年前の約3分の2となり、米以外の多くは休耕となっています（表2）。

表1 農家戸数及び田の水稻作付状況

内 容	平成23年度	令和3年度	増減率
農家戸数	202戸	180戸	▲10.9%
田の面積	69.3 ha	61.0 ha	▲12.0%
米の作付面積	44.7 ha	29.9 ha	▲33.1%
米の作付率	64.5%	44.4%	-

資料：生産調整営農計画書より作成

注) 面積は水張面積で算出

表2 令和3年度における田の利用状況

内 容	面 積	
	米	29.9 ha
米 以外	野菜	4.8ha
	飼料作物・豆類・穀類	4.6ha
	果樹・茶・その他	1.5ha
	休耕（自己保全管理含む）	20.2 ha
	小 計	31.1ha

農業振興アンケート調査を実施 ～耕作の状況と問題点～

今年4～5月にかけて上津江・中津江における今後の農業振興についてのアンケート調査を行いました。

対象は農地の耕作者と所有者218世帯で154世帯から回答を得ました（回答率70.6%）。

回答者の年齢構成については図1のとおりです。

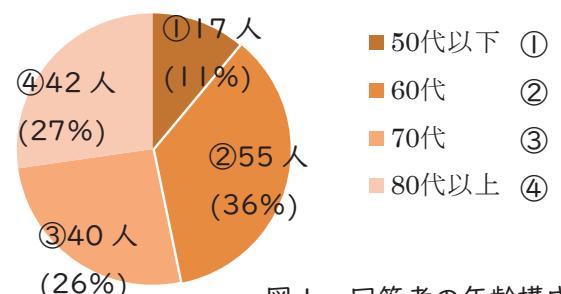


図1 回答者の年齢構成

アンケートにおける主な項目・結果

【問1】なぜ耕作しているのか？

- | | | |
|----|----------------|-----|
| 1位 | 自分の代で荒らしたくないから | 59人 |
| 2位 | 自給自足のため | 42人 |
| 3位 | 農業機械を保有しているから | 30人 |
| 4位 | 生きがいのため | 25人 |
| 5位 | 生活に必要な収入を得るため | 24人 |

【問2】なぜ耕作しないのか？

- | | | |
|----|---------------|----|
| 1位 | 農地としての条件が悪いから | 9人 |
| 2位 | 手がかかるから | 6人 |
| 3位 | 農作業がきついから | 3人 |
| | 儲からないから | 3人 |

耕作理由として収入よりも「荒らしたくない」「機械保有」「生きがい」などの精神的な側面が強いことが分かります。また、有害鳥獣対策や労力の軽減は大きな課題となっています。

【問3】重要なが満足していないこと

- | | |
|----|------------------|
| 1位 | 有害鳥獣対策 |
| 2位 | 作物の出荷にかかる労力の軽減 |
| 3位 | 作物の栽培や管理をする労力の軽減 |
| 4位 | 農地への進入路等の整備 |
| 5位 | 土地の相続や地目変更の手続き |

その他の主な意見

- ・草刈りが重労働
- ・営農指導（相談窓口）がない
- ・後継者がいない

当面は地区で管理を続けていきたい

地区共同で 管理を続けたい

小竹 川津 秀一さん



小竹地区では集落営農組織を設立し、中山間地域等直接支払交付金を活用して、機械を共同購入し、管理しています。

それぞれ仕事があるので、作業は個人ごとに行っていますが、消毒などは地区全体で決めて取り組んでいます。草刈りと防護柵の管理は共同で行っていますがやはり大変です。

管理ができなくなった農地は、今のところ地区の人が引き受けて管理しています。

あと 10 年位は今の体制で概ね管理していくと思います。後継者は集落内には少ないけど近くに住んでいる人もいます。今後のことは地区で話していきたいと思っています。

地区で引受け 頑張りたい

浦 二又 辰美さん



定年後戻ってきて 4 年目になります。

浦地区は 10 年間中山間地域等直接支払事業への取り組みをやめっていました。「農業は続けているのにもったいない」と思い、「私が事務局をするから」と言って地区の人に声をかけ、取組を再開しました。

現在、近所の人の田も引き受けて、米を約 3 反と野菜作りに取り組んでいます。野菜はチンゲン菜やピーマンなど試行錯誤しています。

浦地区でも一人暮らしが増えてきて、後継者がいない家も多いので心配ですが、あと 10 年くらいは「浦地区の稻刈りは自分がする」気持ちで頑張っていきたいと思います。

できる限り農地を守りながら新しい扱い手も検討

できる間は 農地を荒らさない

葛 嶋崎 豊信さん



小平地区も高齢化等で耕作者が減りましたが、地区の人やつえのさとが耕作を続けています。

農業は草刈りや毎日の水管理、有害鳥獣対策など本当に大変な労力が必要です。

農村環境を維持するため、できる間は代々の農地をみんなで荒らさない。食糧難を経験した私たちは、赤字でも米を作ることが大切です。また、今後のために高齢者でもできる作物があるとよいと思います。

できなくなったら委託も考えないといけないですが、個人や1つの組織では農地の管理は大変です。集落営農などのしっかりした組織が町内にいくつかできるとよいと思います。

高齢者でも できる作物を

南雉谷 信岡 健太郎さん



雉谷地区は小さい頃から農業一筋の人が多く、赤字でも自分の体が続く限り頑張ってきましたが、高齢化が進み、つえのさと等に米作りを委託する人が増えました。

営農組合では、いつまでも農業に従事できるように、健康づくりや集いの場づくりにも取り組んでいます。福祉対策を兼ねてわさびやとうがらし、落花生など高齢者でもできる作物づくりを検討しています。

雉谷は次の世代が少ないので、今後の農地管理が心配です。若手の新規就農や定年後の移住者など新しい扱い手にも期待したいですが、今後も委託が増えると思います。

米作りの難しさを実感

地域おこし協力隊
(耕作放棄地対策担当)
畠中 毛利 一樹さん



3年前から活動の一環として雉谷の休耕地耕作を始め、現在5件・1.5haを作付しています。

自分が頑張って農地の価値が生かされ、みんなに喜ばれるのは嬉しいですが、米は経費も管理の手間もかかり、機械も必要です。今、機械はつえのさとから借りていますが、個人だけで面積を拡大するのは難しいと感じています。

農地を守る新しい 仕組みづくりが必要

農業生産法人つえのさと 川津 清則さん



一現在の活動状況について教えてください。

従業員4名（臨時1名含む）で、約6.5ha（自・小作）を作付し、田植約6.8ha、稲刈約9.5haを受託しています。

一今後、受託を増やす予定はありますか？

米は価格が安く、経費はかかるので、増員しても人件費が出せない。作業的にも限界で、受けたいけど難しいのが現状です。

一今後、上津江の農地を守るには何が必要ですか？

作業受託のみをうちで行う形（草刈りや水管理は各地区で実施）や、機械を保有する営農組合の受託拡大、他作物と合わせた複合経営組織の設立などの検討が必要だと思います。

上津江米のブランド化（高く売る仕組み）も行いたいですが、最低でも土づくりや食味の基準を作ることが必要です。

これから農業振興アンケートの結果や皆さまのご意見をもとに、上津江の農地を守る新しい仕組みの検討を行っていきます。今後とも皆さまのご協力をお願いします。

職場探訪

地元企業やそこで働く人を紹介します！

第1回

井上製材所



井上製材所従業員の皆さん

井上製材所は創業72年（昭和24年創業）を迎え、現在は三代目の井上洋平さんが代表取締役を務めています。

従業員は男性12名、女性3名の計15名です。12名が上・中津江の地元雇用で、一番多い世代は40～50代です。今年の1月からミャンマー出身の技能実習生2名を受け入れています。従業員の皆さんからは「近くで働けることが良い」「楽しい」との声が聞かれました。

◆主な製品は構造材

月1,300～1,500 m³の丸太を仕入れて製品にしています。仕入れは県内や日田が8割で、熊本・宮崎の原木市場へも市場調査を兼ねて出向いています。

主な製品は柱・桁などの構造材で、乾燥材・グリーン材を合わせて7～8割を占めています。主に福岡などのプレカット工場や製品市場に卸しています。昔は板材や内装材が多くかったのですが、顧客ニーズが変わってきました。その他、化粧材なども製造しています。

◆昨年は輸出の話もあったが・・・

昨年は輸出の話もありましたが、コロナ禍によるウッドショックで輸入材の供給が少なくなり、国産材の需要が増えたため、現在のところ話はなくなりました。

◆今後目指していくもの～井上社長のお話～

木材は国際情勢等で市場の流れが大きく変わります。状況に合わせて、お客様が欲しいものに対応していきたいと思っています。

地元の方への販売もしています。何でもお気軽にご相談ください。



井上洋平社長



桁担当で勤続年数45年の古閑祐一さん(小川原)(左)。モットーは「安全第一」「納期を守る」です。事務や在庫管理を担う日隈志保さん(右)。



柱担当の信岡孝則さん(東雉谷)。「いかに1本から多くの製品を取るか」がこだわりです。



ミャンマー出身のレー・マウンさん(左)とタン・ゾーウーさん(右)。梱包・仕分担当です。

第4回
地域おこし協力隊だより



きゅうりを 始めます！

毛利 一樹



伸びた枝を止める作業

地域おこし協力隊の毛利です。最近の活動内容は7月にキャベツの収穫作業が終わったので、きゅうりの栽培を始めました。

キャベツ栽培を行っていた畑に240本ほどの苗を定植しました。一人で準備をやったことがなかったので、なかなか上手くいかない部分も沢山ありましたが、いろいろな人に教えてもらいながら作業を行い、なんとか無事に定植することができました。

きゅうりの管理は水やりや消毒作業、誘引、摘芯作業などやる事がたくさんありますが、分からぬ事は教えてもらひながら作業を行いたいです。

そして少しでも良い物を収穫できるようにしていきます。8月は田んぼの消毒作業や電柵の設置などもあるので、頑張っていきたいです。

上津江・中津江地区 公共福祉施設整備に 関するアンケート調査を 行います

【移転・統合計画の内容】

① 高齢者福祉センター

(やすらぎ苑と安寿苑)

2施設を統合し、池ノ山に
移転・整備

② 医療施設

(上津江診療所)
上津江地区内の安全な場所
へ移転

③ 児童福祉施設

(すぎっ子こども園・なかつえ保育園)

①と同様に統合・移転

上記計画について、全世帯を対象にアンケート調査を行います。

アンケート用紙と一緒に福祉施設の現状と整備計画を資料として同封していますので、ご一読ください。

75歳になられる方・転入された75歳以上の方など 後期高齢者医療被保険証が届いたら 口座振替を申し込みましょう！

問 後期高齢者医療制度に加入すると、自動的に保険料は特別徴収（年金天引き）になりますか？

答 特別徴収が始まるまでに時間がかかります。それまでは普通徴収（納付書または口座振替）となります。ぜひ口座振替をご利用ください。

問 今まで国民健康保険で口座振替を利用してきましたが、改めて手続きが必要ですか？

答 改めて手続きが必要となります。

問 特別徴収にしたくないのですが・・・。

答 特別徴収を希望しない場合は、口座振替依頼書とともに、普通徴収による納付希望申出書の提出が必要です。

【問合せ】総務振興係 55-2011

令和4年度 金網柵設置希望者募集のお知らせ

イノシシやシカによる被害を防止する防護柵資材（金網柵）を現物支給する事業の令和4年度分の申請を受け付けています。

○申請に必要な条件

- ・出荷販売を目的とした農林産物等を栽培していること。
(自家消費米・自家用野菜栽培地は対象外)
- ・同一集落内の農地等の地権者が3戸以上で申請すること。
- ・自力施工によって設置できること。
- ・これまで金網柵を張った土地でないこと。
(追加支給はできません)
- ・電気柵(自費設置除く)を設置していないこと。
- ・設置後14年間の管理が行えること。

○申請書類提出期限 8月31日（火）

【申請・問合せ】産業建設係 55-2011

丑年生まれのペンリレー

年男・年女の方に思うことを書いてもらうコーナーです。丑年の皆さん、原稿お待ちしています！

もう少し地域のために がんばりたい

小竹 森口 啓介さん

早いもので上津江に帰って10年が過ぎました。両親の介護に奥さんが2年先に帰っていました。その両親も見送り、今は姉の面倒を見ています。何か地域のお役に立ちたいと意気込んでいましたが、無力感で心が折れそうになります。

しかしながら自然環境と地域の人たちの温かさは都会生活では味わえない素晴らしいものです。ただ御多分に漏れず高齢化と少子化は想像以上に早く進み10年後20年後が思い描けません。では何をすれば?と問われてもなにも浮かんできません。

中学卒業後横須賀へ、5年後大阪へと、当時金の卵ともてはやされ高度成長期やバブル経済も経験し、社会の一員としての実感がありましたね。最近体のあちこちが痛んで自分の体を思うように動かせなくなっていましたが、もう少しだけ好きなお酒を飲みながら頑張りたいと思います。これからもよろしく。



発表会を終えて

葛 嶋崎 愛さん

私は、8月8日日曜日に中津江村民ホールで行われたピアノの発表に行きました。私が弾いた曲は「エリーゼのために」と連だんの「糸」を弾きました。

まず、ソロで「エリーゼのために」という曲を弾いて、とてもきんちょうしました。そして、場面が変わって、リズムが速くなってしまって、間違えたりしていました。練習では、上手く弾けたけど、本番ではきんちょうしてしまい、上手く弾けませんでした。でも、みんなの前で、楽しく弾けたので良かったです。

次に、連だんの「糸」を弾きました。1人より2人いた方が安心して、弾けました。とても楽しく弾けたので良かったです。また来年も弾くので、その時も連だんをしたいです。あと、ソロの曲は、歌う人がいるので、私が伴奏を弾くので、がんばりたいです。

マイナンバー
出張申請に
伺います！

日田市では、職場やグループ等にお伺いして、マイナンバーの手続きを行う「出張申請」を行っています。

昼休み等を利用して簡単に手続きができますので、ぜひご利用ください。

■問合せ

総務振興係

55-2011



葛 川原 美月さん

上津江の
きうきうさん
地域でがんばる人を紹介します

つえエーピー(以下エーピー)に今年4月入社した川原美月さんに話を聞きました。

一入社のきっかけは?

中学生のとき、エーピーで職場体験したことがきっかけです。食品製造の仕事につきたいと思っていました。

一どんな仕事をしていますか?

季節によって色々ありますが、今はどうがらしの洗浄・殺菌・加工をしています。

一仕事で楽しいことは何ですか?

職場のいろんな世代の方のお話が聞けて楽しいです。みんな良い人ばかりです。

一これから頑張りたいことは何ですか?

仕事をなるべく早く覚えて、他の人のお役に立てるようになりたいです！